



長崎街道小倉城下町の会

ガイド

柴山品子さん

長崎街道小倉城下町の会

小倉の歴史文化を正しく学び、再評価し、次の世代へ伝えることを目的に活動。活動内容「歴史ウォーク（年4回）、お城まつりウォーク」「おもしろ歴史文化塾（年4回）」「バスツアー」など、他の街道筋との交流も続いています。（毎年3月には小倉城周辺を紹介して、お花見をしています。）

ゆっくり歩き おもてなしガイド

小倉編



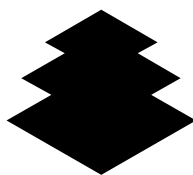
今日は、「長崎街道小倉城下町の会」の柴山さんに、小倉の歴史を語るうえで欠かせない小倉城、常盤橋、瑜伽神社を巡りながら、ご案内いただきました。

Q 小倉城の歴史と見どころは？

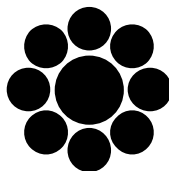
小倉の城下町は、1602年に細川忠興が小倉城を築き、その後、小笠原氏に引き継がれました。大阪城、名古屋城に次ぐ広さを誇り、福岡県で唯一の天守閣を持つ唐造りの名城として知られています。石垣には、自然の石を加工せず積み上げた「野面積み（のづらづみ）」が採用されています。

Q 街のなかに城下町を感じられるところがありますか？

魚町、紺屋町、鍛冶町、大工町などの町名には、当時の職業の名残が見られます。また、長田寺では細川氏の九曜紋、宗玄寺では小笠原氏の三階菱紋を瓦に見ることができます。



三階菱紋



九曜紋

Q 常盤橋の歴史と見どころは？

常盤橋は、日本最大級の木製の橋です。作られた当初はすべて木造でしたが、たびたび流されることがあったため、橋脚を石で造り、その上に橋を架けるようになりました。この石造りの橋脚は、現在、常盤橋のたもとと「いのちのたび博物館」に保存されています。

また、常盤橋は九州の五街道の起点でもあります。京町側には「中津街道」「秋月街道」「門司往還」、室町側には「唐津街道」「長崎街道」の起点があり、東京・日本橋のように橋の中央ではなく、両端に起点が分かれているのは珍しい特徴です。

さらに、全国を測量し地図を作成した伊能忠敬は、京町側にあった「大阪屋」という宿を九州の拠点としていました。その功績を称え、私たちは「伊能忠敬顕彰碑」の製作に携わり、毎年1回の献花の集いにも参加しています。

私たちの「長崎街道小倉城下町の会」も常盤橋周辺が整備された平成8年に始まりました。この木

の橋は小倉のシンボルです。大切に今後に残して欲しいと思います。



常盤橋は保全のため、現在通行止めとなっています。

Q 瑜伽（ゆか）神社の歴史と見どころは？

瑜伽神社の周辺は、かつて「高浜」と呼ばれ、海外からの船や物品が届く港に近い賑やかな場所でした。すぐそばを流れる神嶽川の「宝来橋」という名前にも名残を感じることが出来ます。神社仏閣の多い場所だったことから、この瑜伽神社も商売繁盛の願いがこめられ、蛭子（えびす）様と大黒様を合わせて瑜伽神社という名前が付けられています。この神社には、

3つの鳥居があり、4つの神様が祀られている珍しい神社です。この周辺は「小倉発祥の地」ともいわれています。

この小倉城、常盤橋、瑜伽神社は小倉の宝です。私はいつもそう思っていて案内をしています。



Q 若い世代に向けてメッセージを

「小倉の町を好きになってほしい」と思います。北九州の小倉は、空気は良いし、山の幸、海の幸も沢山あります。交通の便も良く、移動に便利な町だと思います。現在の歴史・文化をこれからの若い人たちに学んでいただき、より良い北九州を築いてくださることを願っています。

Q おすすめのコースを教えてください

小倉駅から参勤交代往還路、京町を通り抜けて、今は通れませんが、常盤橋を見て、小倉城・小倉城庭園、八坂神社まで行きます。その後鵬外橋で紫川を渡って、宝来橋から瑜伽神社、24時間スーパー発祥の丸和があった旦過市場を見て、魚町商店街、京町商店街のアーケードを通って小倉駅に戻るルートがおすすめです。

柴山さん、本日はご案内いただき、ありがとうございました。

小倉への深い愛情が、とても伝わってきました。

柴山さんのミニ情報

小倉出身のご主人が郷里へ戻ることになり、宮崎から転入。引っ越してきたところ、どこも知らない状況だったので、北九州市の主催する「観光ボランティア大学」で半年間学んだあとに、観光ボランティアに。一つ知ると、そこからまた興味が広がって、どんどん好きになったと笑って話してくださいました。

北九州風景街道（長崎街道）推進協議会は団体・機関の官民協働で活動を行っています。



柴山さんのガイドは
こちらからご覧いただけます

